

No.	15-5-2	場所	高森町出砂原 天竜社と「喜楽」の間の町道	次世代への継承キーワード	災害現象理解
名称	大島川からあふれて飯田線を越えた濁流は天竜社から出砂原に流れた			河川	大島川
災害現象	洪水氾濫			支流	
補足事項					

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●体験談：〇〇(六区在中の方)

二十七日の夜、(中略)＜避難命令が出て＞出砂原の下の方は大体逃げ始めていた。従姉の所へ自転車を預けて、選果場に行く事になったが家にいる父達が心配で、私か家にもどる事にした。明神橋のたもとは、さっき逃げる時は水がついていなかったのに、もうすごく水があふれている。びっくりして水の中を走った。家の前では父達が天竜社より流れくる水を家へ入れまいと材木や薪などで水をとめている。私は懐中電燈を持って照らす役目。横の排水は天竜社より流れくる藪で穴がつまる。「早く来て、穴がつまるよう!!」兄を呼んで藪をかき上げる。

(「災害の市田郷」p.94)

記 録

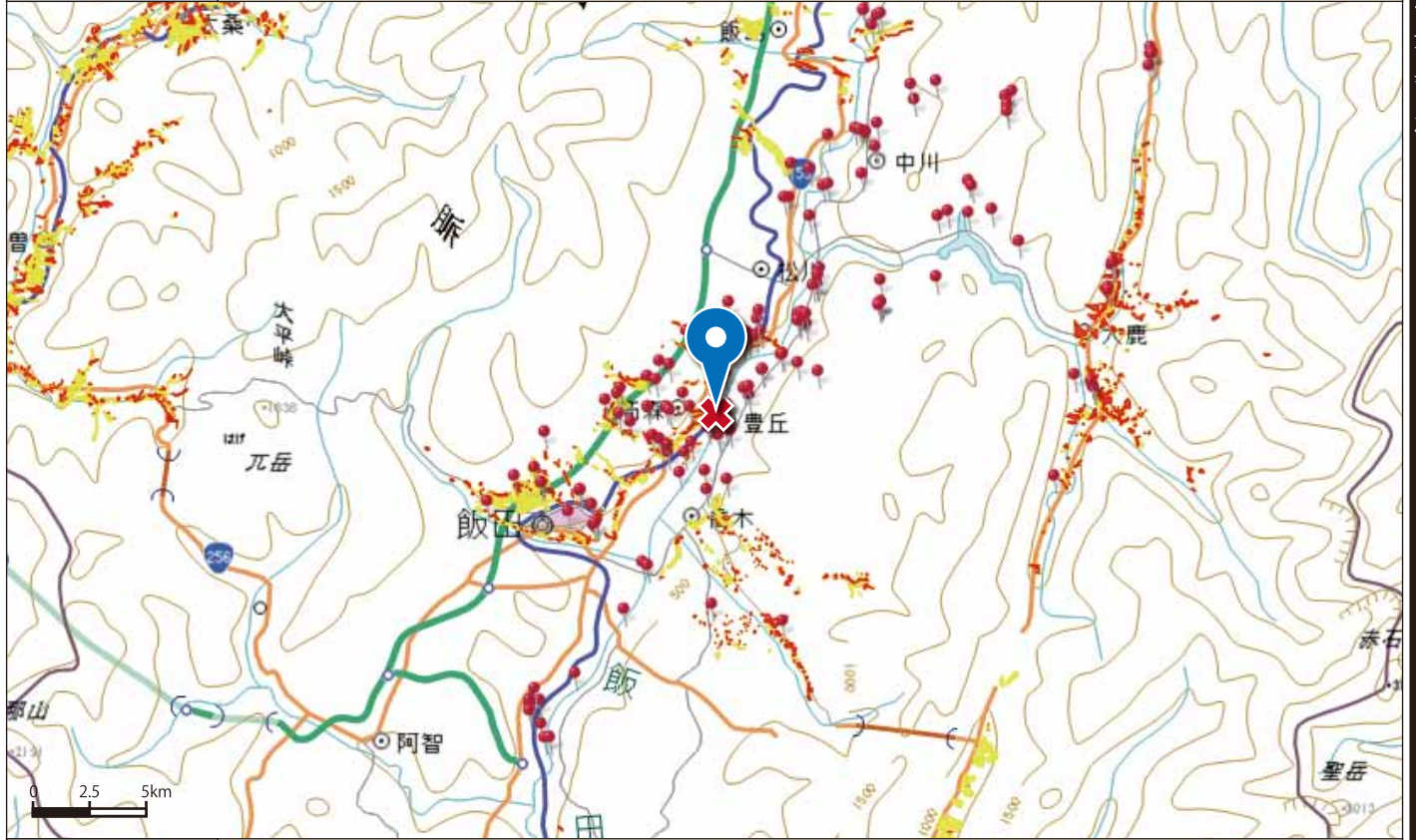


天竜社と喜楽の間の町道。前方は明神橋

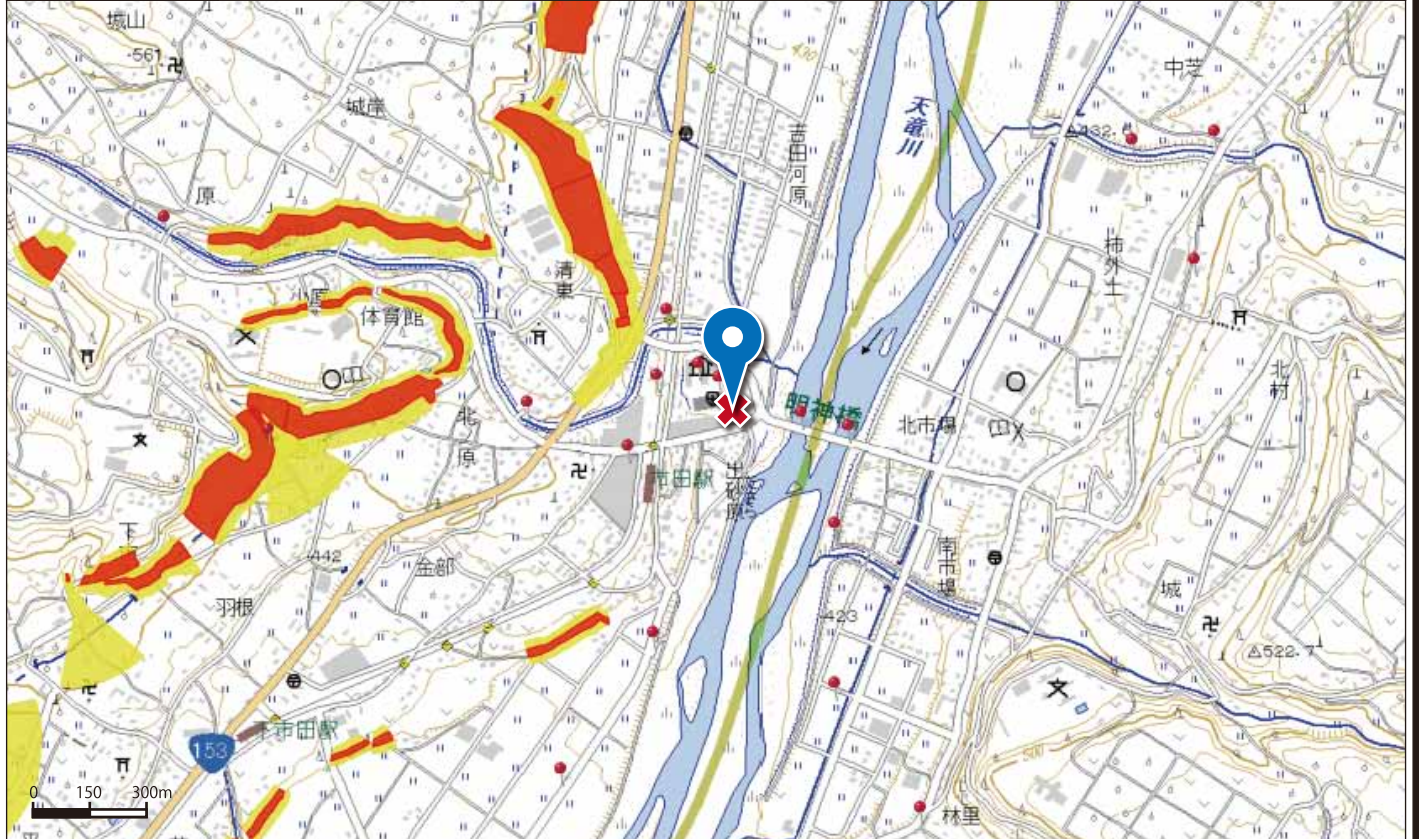
出典	「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.26/「災害の市田郷」p.94
備考	概要欄の< >は編者が補足説明したものです。

No.	15-5-2	場所	高森町出砂原 天竜社と「喜楽」の間の町道	緯度	35.550830
名称	大島川からあふれて飯田線を越えた濁流は天竜社から出砂原に流れた			経度	137.888777

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。